



主要地方道伊那生田飯田線 宮ヶ瀬橋開通に寄せて

主要地方道伊那生田飯田線天竜川架橋
宮ヶ瀬橋架け替え促進期成同盟会
会長 松川町長 宮下 智博

(主) 伊那生田飯田線の天竜川を跨ぐ宮ヶ瀬橋は、昭和33年に架橋されて以来、地域の重要な橋りょうとして大きな役割を果たしてきました。しかし老朽化に伴い、新橋への架け替えを近隣の大鹿村及び中川村と連携して長野県に要望してまいりました。平成27年度から長野県により新橋の架け替えの事業化が図られ、着手後は計画的に事業が推進され、この度の完成・開通の運びとなりました。

新しい宮ヶ瀬橋がこの地域の発展の架け橋となることを切に希望し、これまで事業推進に当たられた県関係者をはじめ、貴重な用地をご提供していただいた地権者各位、安全かつ確実に工事を完成された工事関係者の皆様、ご支援・ご協力を賜りました全ての関係の皆様へ改めて感謝申し上げます。



上新井区 区長 宮嶋 英雄 様

新宮ヶ瀬橋開通に寄せて

新宮ヶ瀬橋の完成・開通にあたり、上新井区を代表してお祝と関係者の皆様に御礼を申し上げます。

宮ヶ瀬橋は視界の悪い狭い場所を通過しているため、電東線一番の難所でした。また、近年における大雨洪水による災害の危険も危惧されており、早期の完成を待ち望んでいました。

交通の難所が解消され、地域住民の安心安全が確保され、観光や物流で地域発展に寄与するものと期待しております。



一般県道塩名田佐久線 中佐都バイパス 開通に寄せて

佐久市長 柳田 清二

県道塩名田佐久線「中佐都バイパス」の開通にあたり、地権者の皆様をはじめ、関係各位の皆様に対しまして感謝、御礼申し上げます。

本路線は、平成17年に1市2町1村で合併した新佐久市の北幹線道路に位置づけられており、県と工区を分担して整備を進めてきました。今回の供用開始は、特に浅科地域の皆様には待望の開通となっております。

バイパス開通により、住宅が立ち並ぶ旧道への通過交通の減少による道路環境の改善及び西の浅科・望月地域と東の佐久平駅周辺や中部横断自動車道との相互のアクセス向上により、地域振興にも大きく寄与するものと期待しております。



浅科地区 区長会長 丸山 和之 様

中佐都バイパスの 全線開通にあたって

令和3年3月に県道塩名田佐久線 中佐都バイパスが全線で開通の運びとなりました。

バイパスの整備により浅科地区をはじめとする佐久市西部地域から中部横断自動車道 中佐都インターチェンジや佐久平駅周辺へのアクセス、交通の利便性が格段に向上しました。

また、県道は旧中山道の八幡宿と塩名田宿を結ぶ街道であり、幅員が狭く人家が連なり、車両や歩行者(小、中学生の通学路)の通行に支障をきたしていましたがバイパスの開通により、通過する車両も大幅に減少し、地域の安心安全も確保されました。

事業の推進にあたりましては、関係地権者をはじめとする地元住民の皆様、関係諸機関並びに工事関係者の皆様方に御礼を申し上げます。

